



**浅井** だんだんパパたちも協力しなきゃいけないことが増えていきますよね。保育所の年長さんのクラスでママ会があるんですけど、今年初めてパパ会が開かれました。本人たちはママに言われてよく分らず集まったんですけど。

**湯田** それでみんな行ったんですか？飲み会みたいな感じですか？

**浅井** 一応飲み会なんですけど、お互いあまり知らないの、「初めまして、私〇〇と言います」というおじさんたちの自己紹介から始まりましたね(笑)

**町長** 何がきっかけだったの？

**浅井** お遊戯会の準備ですね。親の出し物があって、パパたちもやってほしいってことになって。でもパパたちは集まったこともなかったからきっかけ作り

を選択してた気がする。今と社会が違うせいもあるかもしれないけど、野球に関してだけは、なるべく練習試合も含めて仕事の休みをとってでも観にいった記憶があるね。それが町長になった途端、できなくなってる。そういった関わり合いが無くなったってのは寂しく感じたりね。

**浅井** うちの子は今サッカーが好きなんですが、やる相手がパパしかいないんですよね。どこかに行けばいつでも誰かとサッカーができるってわけではなくて、友達と遊ぶ約束をしないとなかなか成立しないので。そこが町長が言われたように環境として違ってたなって思いますね。

**町長** なんだかんだ近所に子どもがいたんだよね。公園を中心にして同じような年代の子が、6人くらいはすぐに集まったからね。今と比較して申し訳ないけど。

**湯田** 自分たちもそういう時代でしたよね。

**今井** そうですね。学校に行けば誰かがいるみたいだね。

**町長** そのうち、お父さんお母さんじゃなくて友達と遊びたいってなって、それが一番良いのかなと思う。だから今のうち



しか関われないから、西岡さんが話していたけど子どもの成長って楽しみだね。

子どもができて自分が変わった

**今井** 正直、僕は子どももってあまり得意じゃなかったんですけどね。

**西岡** 実は早くもそうなんです(笑)

**今井** 剣道とかスキーを指導したこともあるんですけど、やっぱり苦手で。だから「やる気ないなら帰れ！」って強く言ってしまったこともありましたね。どうやって接したら良いのか分からなくて。でも自分の子ができた途端、他の子に「あ〜可愛いわね〜」なんてことが言えちゃうんですよね(笑)昔なら口が裂けても言えなかったんですけど

我が子にどんな風に育ってほしいか

で。「まず集まりなさい。飲みなさい。LINE交換しなさい」とってことで。みんな交換の仕方分からなくて(笑)男ってコミュニケーションとるの大変だなんて改めて感じました。

**今井** それでみんなよく集まりましたね。

**浅井** 無事仲良くなって二次会までいきました(笑)またパパ会やるうって言ってます。そんなこともあって、パパのコミュニケーションっていうのも広がってきているのかなって感じますね。

**浅井** 次は、我が子たちにどんな風を育ってほしいかということをお話したいです。ちなみに、浜田パパはどんな風になってほしいと思ってる、どんな風に育ちましたか？

**町長** 町長の立場としても話していることだけど、子どもはとにかく元気が大事。あいさつができないだとか、ゲームばかりしているだとかあるかもしれないけれど、まずは元気。それから負けない心だね。それをどうやって育てていくかっていうの

どね。自分が驚くほど変わって、それが自分の中で不思議なことですね。

**西岡** それでもやっぱり自分の子が一番可愛いんですけどね(笑)でも、他の子どもや家庭のことにも気になるようになりましたね。そういった意味でも変わりますね。子どもができるといういろいろなことの見方が。

パパのコミュニケーション

**浅井** 今って子ども中心の社会が増えてきていますよね。自分の周りも含めてママ友が増えたり。実は私と木村さんは奥さん同士仲が良く、ママ友でもつながっているんですよ。

**木村** そうですね。私自身も仕事の関係で浅井先生を頼っていたので。うちはそういう関係になっっている家族が何組かいます。妻の同級生と家族同士で遊んだりとか、妻が行く家事の勉強会で仲良くなった奥様方とか。そこに私が入って、おしゃべりしながら半分託児みたいなことをするときがありますね。

**浅井** そんなときのパパ同士っていろいろも緊張しませんか？

**一同** あ〜分かる(笑)



は難しいところだけど、自分か思っていたのはそんなところかな。もつと格好良く言えば、四季折々を感じてほしいなって。春は気持ちが良いとか夏は虫が出るだとか、漠然とだけどうういった何かを感じてほしいなっていう思いはあったね。それとスポーツを通じて上下関係を学んだり、あいさつとかを身につけてくれたら良いなって思ってたかな。あとはうちの奥さんがしっかりしてたからね(笑)

**湯田** 負けない心って、転んでも立ち上がる強さってどういうかね。人生って絶対落ちるときもありませんからね。そこで立ち上がる強さを身につけてくれたら良いですね。あとは人の気持ちが変わることですね。

**今井** 本当にありきたりですけど、僕も元気が一番かなと思っ



木村 妻には「もっと父親同士で話せば良いの」って言われます。

**西岡** そう言われてもね(笑)改まるかなんだかね。

**木村** きつとお互い、話さなきゃ、話してみたいって思ってるんですよ。でも仕事の話をするのもあれだし、なんかこう距離感が掴みづらいというか(笑)全く知らない相手同士じゃないけど、なんか上手くないかなって思ってますよ。

**町長** 目に浮かぶね(笑)

**西岡** 保育園の行事のお手伝いとかで親同士で会う機会はあるんですけど、なかなか難しいんですよ。

**湯田** トムラウシって、お互いみんな知っているのでもそこは良いんですよ。街だったら知らない人もいますよ。

子どもとの有意義な時間の過ごし方

ます。元気で優しい子になってくれたら。

**西岡** うちが漠然としてますが、長男には「大物になってね」、娘には「良いお嫁さんになってね」と言ってます(笑)

**木村** 基本的に思っているのは、自分で育ちたいように育ってほしいってところですかね。そのために必要なのは健康と精神的な自立だなんて思っています。家でやっているのは例えばテレビを置かない、あと食品には気をつけています。テレビがあるって1時間でも2時間でもそこから動かないんですよ。名前を呼んでも「ご飯だよ」って言うてもポカーンとしてテレビを見て。これはまずいなあと思っ

**今井** でもそれでテレビをやめるってすごいですね。うちはそこまでできてないなあ。

**木村** 共働きでお仕事をされている家庭では難しいと思います。妻が専業主婦をやってくれていて、家の中で時間調整しながら育児してくれているのでできていただけだと思うんです。でも